

## 平成25年度 第1回学校評議委員会の報告

### 出席者 評議員

小柴喜治 様 (湯口地区コミュニティー会議事務局長)

大菅俊悦 様 (花巻温泉支配人)

佐藤貴子 様 (同窓会副会長)

伊藤盛幸 様 (花巻地区コミュニティー会議事務局長)

### 学校側

菅原教紀 (校長)

鈴木孝由 (副校長)

阿部善信 (事務長)

木村光里 (新採用)

### 1. 開会の言葉 (副校長)

### 2. 校長挨拶

いつも教育活動にご協力いただきましてありがとうございます。高総体が先日の水泳競技をもって終了し、花巻南高校は体操部、テニス部の7名が北九州インターハイに出場する予定です。来月から高校野球も始まりますが、ぜひ全校応援で臨みたいと考えております。文化部についても、囲碁将棋部や吹奏楽部等が大会に参加する予定です。持っている力を発揮してほしいと思っております。

前期中間考査が6月14日に終了しました。生徒はよく頑張ってくれたように思います。土日を挟まない3日間連続の考査ということで、反省事項も残っております。

体育祭が6月18, 19日に行われましたが、生徒たちは3年生を中心にフェアプレーでがんばってくれました。クラスの団結も深まり、見ていてとても気持ちのよい体育祭であったと感じております。

花巻南高校は100周年を終え、再び歩み出しました。本校の課題の確認も含め、ご意見、ご助言をいただきたいと思っております。

### 3. 説明および意見交換

#### (1) 学校経営について (校長)

「挨拶・自立・信頼」をモットーとし、生徒・教師がいきいきと活動し、自己の進路を開拓することができ、地域から信頼される学校をめざしたいと考えております。今後の取り組み方針として、まず基本事項について取り組みを進めていきたいと思っております。生徒理解・生徒観察のため、本年度より生徒相談部を分掌として独立させ、朝のSHRの時間も5分から10分へと延長しました。また、いじめ・いやがらせ等の未然防止に取り組んでいきたいと考えております。また、実態調査の実施・迅速対応に努めたい。復興教育にも取り組んでまいります。

#### (2) その1 学校概況について (重点目標より)

①学力向上について

わかる授業に努め、「授業内容がわかる」と答える生徒の割合を数学60%、英語50%へ。小学校、中学校では実施済みである、観点別評価の検証を進めていきたい。基礎学力調査「平均正答率」(高2)を数学50%、英語60%へ上げたいと思っております。

②生徒指導について

年間の欠席率1%以下を目指し、取り組んでいきます。岩手県として東日本大震災復興を担う人材の育成を目標にしておりますが本校でもその目標を取り入れていきます。

③進路指導について

就職希望のインターンシップや看護体験を実施し、また進路達成率100%、国公立大学10%をぜひ達成したい。昨年度は国公立進学15名。将来、30名は国公立に入れることを目標にしていきたいと思っております。

④生徒理解について

生徒の可能性は無限大であり、生徒の可能性を教師が制限しないように、また、生徒の可能性を最大限伸ばす取り組みを進めていきたいと思っております。道徳が教科となるような流れもありますので道徳教育の充実も図りたいと考えております。

⑤地域への貢献

HRを更新し、情報発信を行います。

⑥教職員の資質向上

授業力の向上のために、研究授業や相互の授業参観を行います。県でも、校内での研修が資質向上につながるとの話をしております。また、他校の先生の授業を見たいと言うときには教員を派遣したいと思っております。先生方は教育センターでの研修にも参加しております。

(3) その2 学校概況について (各分掌、学年の重点目標より)

①総務部

海外訪問団の受け入れ (今年はドイツ、韓国)。海外ホームステイの成果を全校生徒に還元できるような報告会の実施に努めます。PTA 総会について、参加率30%を目標としていたが、5月に行われた総会では85名の出席でした。(15%ほど) PTA 会報の企画の検討、内容の充実を図ります。次号は7月23日発行予定です。(発行済み)

②教務部

45分7時間授業の円滑に実施し、家庭学習を定着させる取り組みをします。観点別評価の実施ということで、生徒のいいところや努力しているところを評価に含めていきます。部活動指導と学習指導を連携させ、文武両道を目指します。7月31日(土)の一日体験入学を充実させたいと思っております。また、生徒の欠席率を

1%以下にする努力します。(1日5～6名程度に抑えたい)

③生徒指導部

盗難の未然防止に努めます。生徒ロッカーを施錠できるようにしました。また、盗難の他にも、整容指導にも力を入れたいと考えております。震災復興としてボランティア意識を高め積極的に参加させます。(各学年で復興教育が計画されています)

④進路指導部

保護者の進路意識の向上を図りたいと思います。全学年メール送信による進路情報の発行など、情報を発信します。進路目標達成値として、大学・短大等進学率50%、国公立大合格10%目指します。

⑤厚生部

全校で地域清掃を試みたが、先日、生徒の材木町の公園の使用方法が悪いとご指摘もいただくことで、生徒に注意喚起しました。

⑥図書部

芸術鑑賞会を明日、6月26日(水)に開催します。(実施済み)

⑦教育相談部

今年から独立した分掌になりました。カウンセラーの先生は県費1名、私費1名。欠席の多い生徒への面談や、スクールカウンセラーさんへの相談、活動の推進に取り組んでいきます。

⑧情報システム部

学校評価や、授業評価の実施と集計を行います。授業評価について現在進めています。公式ホームページの設立を現在進めております。7月より開始。(更新しております)

⑨1学年

生活時程に慣れさせます。復興教育に取り組めます。

⑩2学年

校則、交通法規を遵守させます。2人乗りや、並進について呼びかけを強化していきます。復興教育に取り組めます。

⑪3学年

進路目標の明確化と、それに向けての取り組みの強化、生徒への喚起を促します。本人は何をしたいのか。何になりたいのか、生徒と保護者も交えて話を進めていきます。

⑫事務室

省エネ・省資源として取り組んでいる。H22より5%ダウン。目標を達成できています。紙をリサイクルし、無駄を省く取り組みもしています。岩手県エコマネジメントシステムの推進として、県の取り組みに連動し、学校でも取り組みたい

と考えております。夏場に2回ライトダウンを行っています。(6月21日、7月7日) また、会計事務自己点検を実施し、ミスのないように努めています。生徒に危険の無いように安全第一として設備整備を行っています。

#### (4) 意見交換

- ・ いじめがあるのか。  
→ありません。
- ・ 45分の7時間ということだが、授業は何時に終わるのか。中学校より長いのか。  
→15:40です。授業時間数の確保に努めております。新学習指導要領に合わせ、各学校で時程は異なります。
- ・ 学校評価について  
→いかにPDCAの取り組みを進めるか。反省をどのように実践に移していくか。  
すでに、取り組んでいる事項もありますし、今から取り組むこともあります。
- ・ 45分で教えたい内容がすべて教えられるのか。短いような気がするが。  
→教える側からするともう少しと感ずる場合もあるかもしれませんが、学校の実態に合わせて進めています。  
→1コマ50分が標準であるが、単位数が多いものについて時間数を増やしております。単位数の少ないところにも配慮はしております。今年度より新教育課程も実施されております。内容が、さらに充実した部分もありますので、そのことにも対応していきたいと考えております。
- ・ 国際科学学系の入学者が減ってきているようだが。  
→時代の流れでしょうか。盛岡市立高校の英語科も募集停止が決まっております。
- ・ 学力向上で先生方は「わかる授業」に取り組んでいるが、生徒の「分かってほしい」という気持ちが欠如しているように感じる。生徒自身が努力して、わかった喜びを味合わせるような授業もとても大事であると思われる。
- ・ 他校参観はとても大事だと思う。やはり、小規模校で教科1名のみ先生は不安になるのではないか。
- ・ 「互換授業」で、ふらっと立ち寄るような形でよいと思う。  
→県外に素晴らしい先生がいらっしゃいますが、県内にも、素晴らしい先生が多くいらっしゃいますので、先生方には勉強のために是非、授業参観に行ってくださいと思っています。
- ・ 地域で話題になっていることがあれば、教えていただきたいと思います。学校がより良い方向に進むよう取り組んでいきます。
- ・ 評議委員会の前には是非授業を見せていただきたいのですが。  
→いつでも構いません。授業を参観していただきたいと思います。先生方の刺激にもなります。

→生徒の小さな変化に気づき、生徒が取り組みを充実させることが出来るように取り組んでいきたいと思います。

- ・ 養護教諭が臨時に来ています。食育等でも活躍してもらっています。

#### 4. 閉会の言葉（副校長）